

2021年10月8日

ボックススタイルのフルサイズミラーレス一眼カメラ誕生。マルチカメラでの撮影や配信にも対応。

デジタルカメラ LUMIX DC-BS1H 発売



LUMIX フルサイズミラーレス一眼カメラ (ボディ) 「DC-BS1H」 (2021年10月 パナソニック)

品名	デジタル一眼カメラ
品番	DC-BS1H
メーカー希望小売価格	オープン価格
発売日	12月16日

パナソニック株式会社は、ボックススタイルのフルサイズミラーレス一眼カメラ、LUMIX BOX「DC-BS1H」を12月16日より発売します。

昨今のWEB広告やプロモーション映像など動画コンテンツ需要の高まりを受け、映像制作の現場では幅広い撮影スタイルが求められています。小型で機動力のあるボックススタイルのボディに映像制作に特化した機能を凝縮した本製品は、表現の幅が広がる撮影を可能にします。動画性能では、ハイエンドモデル「LUMIX S1H」の高機能を継承し、広いダイナミックレンジと優れた色再現を実現する14+ストップ V-Log/V-Gamutや、高感度撮影に優れたデュアルネイティブISOテクノロジーを搭載しました。6K24p 10 bit (横縦比3:2)、5.9K30p 10 bit (横縦比16:9)等の高解像度動画の記録時間無制限^(※1)や、HDMI経由での動画RAWデータ出力に対応するなど、様々な動画フォーマットに対応します。

さらに、ボックススタイルの形状を活かし、豊富な入出力のインターフェースを搭載しました。BNC端子とLAN端子を搭載し、3基のBNC端子はそれぞれ3G-SDI出力、タイムコード(TC IN/OUT)、Genlock入力に対応しています。また、LAN端子を用いて、最大4K60p 50 Mbpsの有線IPストリーミング、パソコンからの複数台制御^(※2)(最大12台)、PoE+対応機器からの給電、SDKを活用した外部からの機器制御が可能です。撮影現場に合わせて自在にカスタムできるため、三脚やジンバルを活用したスタイルに加えて、マルチカメラでの撮影や配信にも対応しています。

当社は、現場に合わせて自由にカスタムできる本製品により、収録や配信の現場で新たな表現を求める映像クリエイターと共に新たな映像文化を創造していきます。

<特長>

1. マルチカメラでの撮影や配信にも対応したボックススタイルのフルサイズミラーレス一眼

- ・パソコンからのカメラ制御機能によるマルチカメラ撮影など、撮影現場に合わせて自在にカスタム
- ・最大4K60p 50 Mbpsの有線IPストリーミング(RTP/RTSP)を活用したライブ配信が可能

2. フルサイズセンサーによる高性能な動画撮影を実現

- ・24.2M フルサイズCMOSセンサーとデュアルネイティブISOテクノロジーが実現する高感度画質
- ・当社製シネマカメラ「VARICAM」と同水準の階調・色域を実現する14+ストップ V-Log/V-Gamut
- ・6K24p 10 bit (Full)/5.9K30p 10 bit (Full)/Cinema4K60p 10 bit (S35)などの豊富な動画記録モード
- ・HDMI経由での動画RAWデータ出力(最大5.9K)に対応
- ・すべての動画記録モードで記録時間無制限(※1)

3. プロフェッショナルの制作現場に応える信頼性・拡張性

- ・BNC端子3基とPoE+対応LAN端子を搭載
- ・最大12台のLUMIX BOX(本機及び「LUMIX BGH1」)を1台のパソコンからLAN制御(※2)可能

※1:動作保証環境下において。記録時間はバッテリーとSDカードの容量に依存します。

※2:パソコンに専用ソフトウェア「LUMIX Tether for Multicam」をインストールすることでカメラを制御できます。
複数台接続の場合、同時制御となり、個別組み合わせの操作はできません。

●電源が確保できない場所での撮影時には、別売のバッテリーパック(AG-VBR59/AG-VBR89G/AG-VBR118G)と充電用の別売バッテリーチャージャー(AG-BRD50)が必要です。

【お問い合わせ先】

LUMIX・ムービーご相談窓口

フリーダイヤル 0120-878-638(受付9時~18時)

【特長】

1. マルチカメラでの撮影や配信にも対応したボックススタイルのフルサイズミラーレス一眼



LUMIX BOXシリーズのフレキシブルなカスタマイズ性

新発売のBS1H(フルサイズ)に既存のBGH1(マイクロフォーサーズ)を加えたLUMIX BOXシリーズは、手持ち撮影に特化した一般的な一眼カメラのボディ形状を採用しないことで、接続機器や搭載端子の自由度が大幅に向上、フレキシブルにカスタマイズできる自由度を手に入れました。BS1HとBGH1は概ね同等レベルのサイズとインターフェース(※3)なので、周辺の接続機器や電源供給の共用が容易です。

※3:BS1Hは、Fnボタンとロックスイッチが追加になっています。

●マルチカメラ撮影

例えば、マルチカメラでの撮影時には1台のパソコンから最大で合計12台のLUMIX BOX(本機及び「LUMIX BGH1」)をコントロールすることが可能です。一般的なテザー撮影のような簡易的な撮影設定を複数台一括(※2)で設定することや、カメラ本体のメニューをパソコン上に表示して個別のカメラごとに詳細に設定することが可能です。複数のアングルを用いたスタジオ撮影などの際にカメラ一台一台を直接操作する必要がなく、オペレーション卓のパソコンで便利にお使いいただけます。

さらに、LUMIX BOXシリーズ両機種とも同じガンマカーブのLog撮影(V-Log/V-Log L)に対応、収録後にカラーグレーディングを行う場合にも便利です。また、ライブ配信においてもHDMIやSDIからの映像出力に709LUTやカスタムLUT(.vlt)を適用できるので、絵作りにこだわったシネマティックなライブ配信を行うことも可能です。

●ライブ配信

最大4K60p 50 Mbpsの有線IPストリーミング(RTP/RTSP)に対応します。本機とパソコンを有線LANケーブルで接続することで配信プラットフォームを活用したライブ配信が可能です。専用ソフトウェア「LUMIX Tether for Multicam」を使用すれば、IPストリーミング中の各種設定や操作も可能です。また、それ以外にHDMI出力や3G SDI出力に対応しているため、キャプチャーボードやスイッチャー等の映像入力機器との接続時にも、接続先の機器に合わせて解像度を優先したり、接続の安定性を優先したりと、現場に合わせた最適な接続方法を選択できます。

●映像制作

小型で対称性の高いボディを採用したことでジンバルやドローンへの搭載や特殊なアングルからの撮影への対応力に優れています。また、当社製フルサイズF1.8単焦点レンズシリーズは各レンズのサイズや重心バランスがほとんど同一となるよう設計しているため、シリーズ内の別のレンズに交換する際にもバランスを取ることが容易となり、さらに効率的に撮影を進行できます。

Log撮影においても、当社製シネマカメラの映像ルック「VARICAM Look」を追求しV-Log/V-Gamutに対応したため、当社製シネマカメラと組み合わせた際のグレーディングが容易です。また、ポストプロダクションの際にはV-Logに対応したフルサイズ一眼カメラ LUMIX Sシリーズや、当社製シネマカメラ「VARICAM」、V-Log Lに対応した「LUMIX BGH1」などのLUMIX Gシリーズで撮影した動画と組み合わせ、一貫した絵作りの映像編集を行うこともできます。

市販のシネマカメラやミラーレス一眼と組み合わせた際も、HDMIから出力した動画RAWデータを他社製の対応レコーダーで記録することにより、自由度の高いカラーコレクション・カラーグレーディングが可能です。

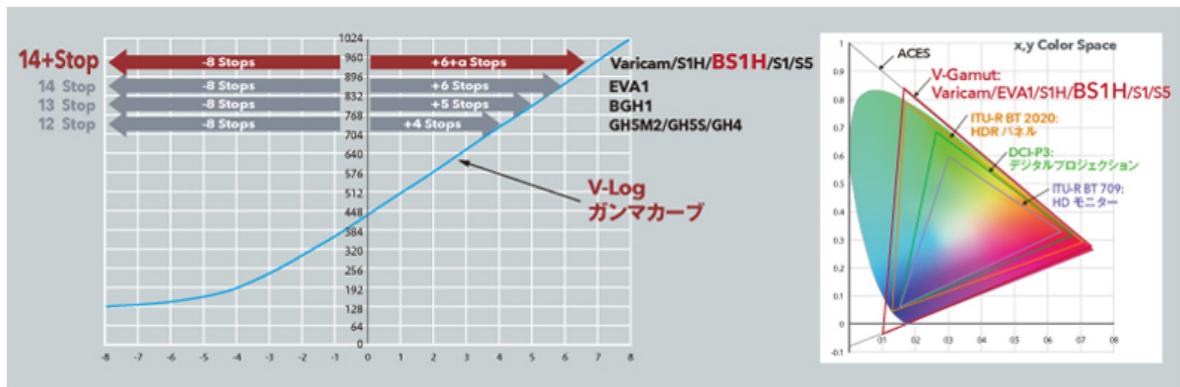
2. フルサイズセンサーによる高性能な動画撮影を実現

●24.2M フルサイズCMOSセンサーとデュアルネイティブISOテクノロジーが実現する高感度画質

高感度に優れた有効画素数24.2M CMOSセンサーを採用し、低照度環境下でも美しい描写を実現します。また、1画素ごとに専用回路を2系統備えた「デュアルネイティブISOテクノロジー」を搭載。ノイズが増幅してしまう高ISO感度設定時に「低ISO感度回路」から「低ノイズ・高ISO感度回路」に切り換えることで、ノイズを抑えたより自然で美しい静止画・動画記録を可能にしました。常用の最高ISO感度はISO51200、拡張ISO感度はISO204800を実現し、撮影範囲の可能性を広げます。

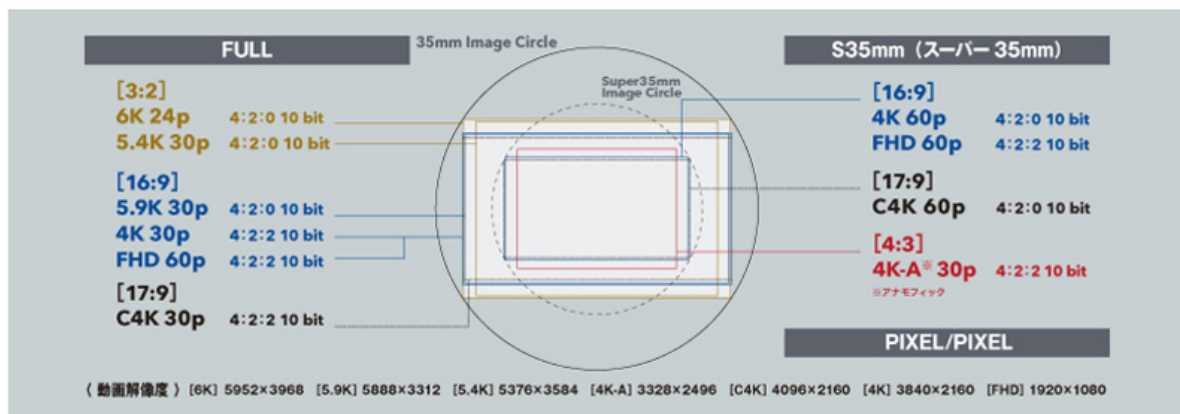
●優れたハイライト耐性で当社製シネマカメラ「VARICAM」と同水準の階調・色域を実現する、14+ストップ V-Log/V-Gamut

本機は、優れたハイライト耐性を持つ14+ストップの広ダイナミックレンジを実現しました。暗部からハイライト部分まできめ細かに描写し、映像制作の編集で自由度の高いカラーグレーディングを可能にします。V-Log撮影時に、LUT適用後の映像を外部モニターに表示するV-Logビューアシスト機能で仕上がり時のルックを確認することができます。



●6K 24p 10 bit (Full)/5.9K 30p 10 bit (Full)/Cinema4K 60p 10 bit (S35) などの豊富な動画記録モード

センサー全域を使った「横縦比3:2 6K/24p (5.4K/30p)、横縦比16:9 5.9K/30p動画記録」などの高解像撮影を実現しました。また、豊富な情報量でポストプロダクションに有効な「フルエリア画角でのCinema4K/30p 4:2:2 10 bit動画記録」や、「スーパー35mm画角でのC4K/60p 4:2:0 10 bit動画記録」など、プロのニーズに応える豊富な動画記録モード選択が可能です。4:2:2 10 bit動画記録モードでは、パソコンの処理負担を抑えたスピーディーな編集が可能な「ALL-Intra動画記録」を選択でき、最大400 Mbpsの高ビットレート記録が可能です。また、HDMI端子からは4:2:2 10 bitの映像出力を行うことができ、動画記録中のHDMI映像出力にも対応。HDMI端子からC4K/60p、4K/60pの4:2:2 10 bit映像を同時に出力することや、カメラ内のSDメモリーカード記録を行いながら、外部レコーダーで高画質な映像を同時記録することも可能です。



●HDMI経由での動画RAWデータ出力(最大5.9K)に対応

ATOMOS社製「Ninja V」、Blackmagic Design社製「Blackmagic Video Assist 12G HDR」モニター/レコーダーへ5.9K 30pや4K (17:9) 60pなどの動画RAWデータの出力が可能。動画RAWデータ出力により、ポストプロダクション時の編集やグレーディングに有効なApple ProRes RAWを「Ninja V」(※4)で、Blackmagic RAWを「Blackmagic Video Assist 12G HDR」(※5)で記録できるので、プロの映像制作ワークフローのニーズに柔軟に応えます。また音声データのHDMI出力にも対応しています。

※4: Apple ProRes RAW動画の記録については、ATOMOS社製 Ninja V HDR モニター/レコーダーで動作確認済みです(2021年10月8日現在)。

詳細はATOMOSにお問い合わせください。

*NINJA Vで記録した動画RAWデータの編集には、Apple ProRes RAWに対応したソフトウェアが必要です。

V-Log/V-Gamutと同じ色合いで動画RAWデータを編集する場合は、下記サポートサイトのLUT(ルックアップテーブル)をご使用ください。

https://panasonic.jp/support/dsc/download/lut/s1h_raw_lut/

※5: Blackmagic RAW動画の記録については、Blackmagic Design社製 Blackmagic Video Assist 5"12G HDR、Blackmagic Video Assist 7"12G HDRで動作確認済みです(2021年10月8日現在)。

詳細はBlackmagic Designにお問い合わせください。

*Blackmagic RAWデータの再生には、DaVinci Resolve、DaVinci Resolve Studioが必要です。

また、Blackmagic RAWデータの編集には、DaVinci Resolve Studioが必要です。

*対応する外部レコーダーを持つ、すべての性能を保証するものではありません。

●すべての動画記録モードで記録時間無制限※1

高精度な放熱シミュレーションと放熱ファンを搭載した放熱構造により、すべての動画記録モードにおいて、動作保証温度内における記録時間無制限※1を実現しました。長時間撮影を可能にすることで30分を超えるノーカット撮影やドキュメンタリー撮影など、幅広いプロの撮影現場の信頼に応えます。

●当社製シネマカメラ「VARICAM」との統一した絵作りを追究した映像ルック シネライクD2/V2

Log撮影やポストプロダクションでのカラーグレーディングを行わなくても、当社製シネマカメラ「VARICAM」や「LUMIX S1H」の絵作りの思想を反映したルックを再現するシネライクガンマを活用することで、シネマライクで印象的な絵作りが可能になります。ダイナミックレンジを優先した「シネライクD2」、コントラストを重視した「シネライクV2」をフォトスタイルから選択可能です。

●頭部認識に対応、認識機能の強化により、追従精度が向上したリアルタイム認識AF

AI分野の先進技術であるディープラーニングを応用した自動認識のアルゴリズムに、人体の「頭部認識」を加えることで、人物に対するAF追従性能を強化したリアルタイム認識AFを搭載しました。動く被写体や、人物の顔が隠れてしまうようなシーンでも、頭部と人体の位置やサイズ、画角により撮影意図をカメラが自動で判別し、背景抜きを抑えながらフォーカスし続けます。人の顔と瞳を検知し、自動でピントを合わせる「顔・瞳認識AF」も「頭部認識」により、遠くの小さな顔も認識し続けることが可能になりました。強化された「人体認識AF」と「顔・瞳認識AF」の組み合わせで、人物へのより高精度なAF追従を実現します。また「動物認識※6 AF」も搭載しているので、動物に対しても高いフォーカス性能を発揮します。

※6:認識できるのは鳥、イヌ科(オオカミなどを含む)、ネコ科(ライオンなどを含む)の動物です。

●ダブルSDカードスロットを搭載

撮影用途に合わせて2基のSDカードスロットを搭載しました。容量がいっぱいになった際に1枚目から2枚目のSDメモリーカードへスイッチする「リレー記録」、2つのSDメモリーカードで同時に記録する「バックアップ記録」等の設定が可能なので、動画撮影に最適な記録方式を選べます。SDメモリーカードは、UHS-II Video Speed Class 90に対応します。

3. プロフェッショナルの制作現場に応える信頼性・拡張性

●BNC端子(3基)とLAN端子(PoE+対応)を搭載

マルチカメラ撮影時などに複数台のカメラを制御し、効率的なオペレーションを実現するために、3基のBNC端子とPoE+対応のLAN端子、HDMI端子を装備。



・BNC端子...3G-SDI出力、タイムコード(TC IN/OUT)、Genlock入力に対応

3G-SDIは、FHD 60p 4:2:2 10 bitの外部出力が可能で、長距離のケーブル引き回しに加え、ケーブルロックバンド付属でケーブル抜けも防止できます。HDMIは、4K 60p 4:2:2 10 bitの外部出力が可能です。HDMIと3G-SDIからの同時出力にも対応しているため、3G-SDIとHDMIの両端子を併用または使い分けすることで、動画記録やモニタリングの自由度が向上します。また、タイムコード(TC IN/OUT)は、時・分・秒・フレーム数の情報を自動で記録し、効率よい映像編集をサポートします。Genlock入力は、フレーム位相を合わせることで、例えば高速の被写体を複数のカメラでスイッチング撮影する際などにも精度の高い同期を可能にします。タイムコードとGenlock入力を併用することでマルチカメラ撮影での高度なオペレーションを実現します。

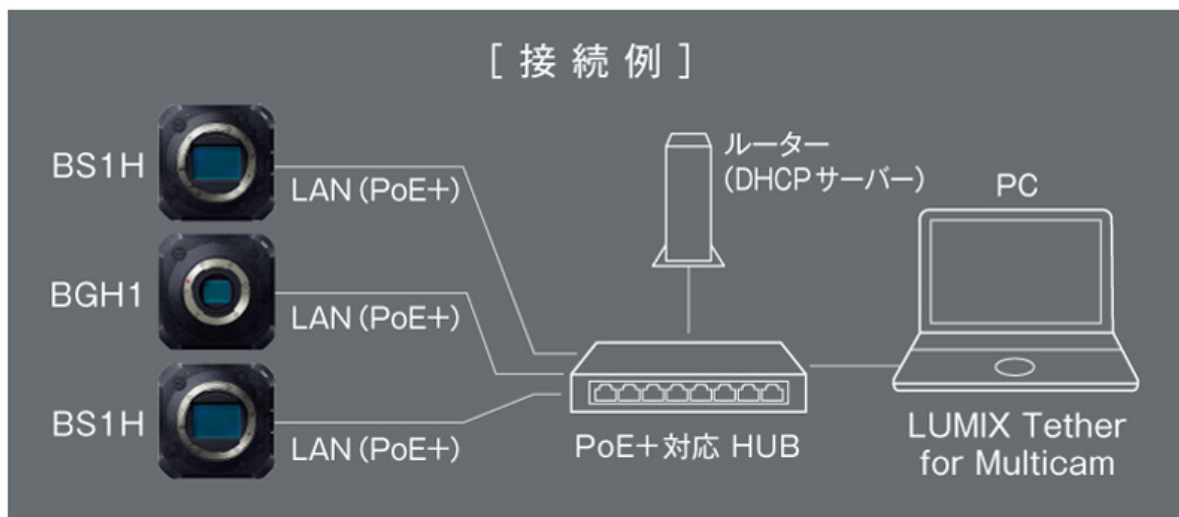
・LAN端子...PoE+対応で、パソコンから複数台のカメラを制御

PoE+(Power over Ethernet)対応機器(※7)へ接続すればLANケーブルを使った電源供給も可能。

※7:複数のPoE+端末を接続できる給電装置によっては、給電できるトータル電力の制限を超えると電源が供給されない場合があります。

●最大12台のLUMIX BOX(本機及び「LUMIX BGH1」)を1台のパソコンからLAN制御(※2)可能

ハブとLANケーブルを使い本機とパソコンを接続し、パソコンからカメラ(合計最大12台まで)をコントロールすることが可能です。本機の発売に合わせて公開する専用ソフトウェア「LUMIX Tether for Multicam」をパソコンへインストールし、パソコン画面上でライブビューを確認できます。また、指定したカメラの絞り、シャッタースピード、ISO感度、ホワイトバランスなどの設定を変更することも可能で、マルチカメラ撮影時の細かな設定をスムーズに行えます。また、USBケーブルを経由して同様の制御を行うことも可能です。



●Fnボタンとロック機構の追加

同じLUMIX BOXシリーズのBGH1と比較して、前面にFnボタンを追加しています。初期設定では露出補正を割り当てています。また新たに追加したロック機構により、物理スイッチを個別にロック設定して誤操作を防止することが可能です。

●自由なソフトウェア開発が可能なLUMIXのSDKに対応

既に公開済みのLUMIX制御用のSDK (Software Development Kit)に対応しています。本機をはじめとするLUMIX Tether対応機種を外部から操作するAPIを使用することで、自由なソフトウェア開発が可能となり、ユーザー独自の撮影フローを構築できます。

・対応機種:DC-BS1H/BGH1/S1R/S1/S1H/S5/GH5M2/GH5S/G9

*BS1HとBGH1はLANとUSB経由の操作に対応。他はUSBのみ。

・対応OS:Windows 10(64 bit)

・SDKの詳細については、下記ページをご覧ください。


<https://panasonic.jp/support/software/tool/sdk.html>

【上記以外の主な特長】

- なめらかなスローモーション、メリハリのあるクイックモーション映像を記録できる「HFR(ハイフレームレート)」「VFR(バリアブルフレームレート)」
- 動画撮影に便利な豊富なアシストメニューをHDMI/SDIから出力可能
「V-Logビューアシスト」「赤枠表示」「ゼブラパターン」「スポット輝度メーター」
- アナモフィック撮影後に仕上がりがイメージを確認できる「アナモフィックデスクイーズ表示」
- スマートフォン用アプリ「LUMIX Sync」によるリモート撮影機能
- スマートフォンとのかんたんペアリング、省エネで常時カメラと接続できる「Bluetooth®4.2」
- 無線接続が可能な「Wi-Fi® 2.4 GHz」
- 寒冷地でも対応するマイナス10℃の「耐低温設計」
- リグやケージ、三脚など装着して拡張できる11個の「ビス穴(三脚取り付け部)」

●DC-BS1Hの詳細な仕様は、WEBサイトをご覧ください。

https://panasonic.jp/dc/products/s_series/bs1h/spec.html

- ・Ninja V/ATOMOSは、ATOMOS Limitedの登録商標です。
- ・Apple、ProResは、米国Apple Inc.の米国、および各国における商標、または登録商標です。
- ・「Blackmagic Design」、「Blackmagic RAW」、「DaVinci Resolve」は、Blackmagic Design Pty. Ltd.の登録商標です。
- ・L-Mountはライカカメラ社の登録商標です。
- ・マイクロフォーサーズ™及びマイクロフォーサーズ ロゴマークはOMデジタルソリューションズ(株)の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。
- ・Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。パナソニック株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。
- ・“Wi-Fi CERTIFIED™”ロゴは、“Wi-Fi Alliance®”の認証マークです。Wi-Fi®・WPA™・WPA2™は、Wi-Fi Alliance®の商標または登録商標です。
- ・SDXCロゴはSD-3C,LLCの商標です。
- ・スマートフォン/タブレットでの操作には専用アプリ「LUMIX Sync」をスマートフォン/タブレットにインストールする必要があります。対応OS
(2021年9月現在)
Android™用:Android5以上(Bluetooth機能は、Android 5.0以上で、Bluetooth 4.0以上搭載が必要。但し、Bluetooth Low Energy非対応の一部の機種を除く。)
iPhone用:iOS11以上
- ・スマートフォン/タブレットアプリ「LUMIX Sync」はパナソニック株式会社の提供する、Wi-Fi搭載LUMIXから送信された写真や動画を受信したり、リモート操作をしたりするアプリケーションです。
- ・「LUMIX Sync」(無料配布)は「Google Play™」または「App Store」より入手することができます。
- ・AndroidはGoogle Inc.の商標または登録商標です。
- ・App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
- ・その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。